

京林大だより

No.79



絵：京林大生 熊走君

森林林業科の入学式を令和7年4月9日（水）に挙行了しました。当日は多くの御来賓や保護者の皆様にお越しいただき、盛大に開催することができました。遅れていた桜も満開となり、花を添えてくれました。

第14期生となる今年は、京都府内から7名、他県から5名、計12名の新入生を迎えました。また、女性は昨年に引き続き最多の4名となりました。

大下校長から、「自然を尊敬できる人間を育てたい」という本校の教育理念や「自分を大切に」、「安全第一」という2つの約束について話を聞いた新入生代表は、「恵まれた素晴らしい環境の中で多くのことを吸収し、それぞれの目標に向けて成長していきたい。」と誓いました。

これから2年間、ご家族の皆様の深いご理解とご協力のもと、地域の方々や林業関係者の皆様にも大変お世話になりながら、森林・林業の知識と確かな技術、そして、人間力をしっかりと身に付け、頼もしい林業の担い手として成長していただけることを期待しています。どうぞよろしくお願いいたします。



今年も歩きました 日本海ウォーキング

この時期恒例の日本海ウォーキング、福知山市雲原からスタートし、赤石ヶ岳～千丈ヶ嶽～鳩ヶ峰～鍋塚と大江山を縦走、宮津市の今福の滝を經由して天橋立まで2日間かけて歩きました。

今年はゴール手前で離脱することなく、全員がゴールテープを切ることができ、本格的な実習に向けて力強いスタートがきれました。



今月の授業参観

「救急救命講習」

入学式から間もない4月14日(月)～16日(水)の3日間、1年生12名が、日本赤十字社の講師による「赤十字救急法基礎講習及び救急員養成講習」を受講しました。

現場において事故や急病人に遭遇した場合、救急隊等が到着するまでの正しい救命法を学ぶため、本格的に現場での実習が始まる前のこの時期に毎年開催されています。

講義と実習が繰り返しあり、同級生同士お互いに練習台となり、けがの手当てから止血、搬送まで、順番に学んでいきました。3日目には検定、総合演習、筆記試験があり、晴れて12名全員が合格、認定証が交付されました。



講習の状況

「森林風致実習」

4月22日(火)、2年生は、嵐山公園亀山地区で観光客が散策して気持ちの良い空間を創造するために、公園内に10×10mの調査区域を設置し、樹種、胸高直径、樹高、樹木位置を調査しました。

その後、公園のヤブ化した林分を整備し、景観を良くするためにはどうしたらよいかを検討し発表しました。

今回の調査をもとに整備計画を作成して、10月に不要な立木等の伐採整理をする予定です。



樹木の樹高を確認する2年生



校長室より

校長 大下 起代

今年度の入学式は、穏やかな天気で、濃いピンクが映えるヤエベニシダレが満開でした。4月24日、25日の日本海ウォーキングも、スタート時点は小雨でしたが、10分も経たないうちに雨もあがり、その後は、清々しい春の陽気の中で歩くことができました。そういえば、4月17日の里山歩きも晴天でした。今年の全学生24名は、晴れ男・晴れ女の割合が高そうです。今後もその力を遺憾なく発揮してもらいたいです。

昨年の日本海ウォーキングは、大江山を縦走する所々でムシカリ(オオカメノキ)が満開で白いトンネルをくぐるような箇所もありましたが、今年は、やっと咲き始めたくらいで、春の到来の遅れと寒暖差の激しさを改めて感じました。1年生は、長距離の山歩きが初めてという学生も多かったですが、時間内に天橋立に辿り着きたいという思いを強く持ちながら歩くことができました。目的地が約50キロ先でも1歩1歩を繋いでいけば自分の足だけで到達できたという経験と自信がこれからの授業や人生に生かされていくと思います。新2年生は、1年生に気遣う言葉をかけたり、歩き方をアドバイスしながらしっかりとリードし、成長した姿を見せてくれました。昨年度の1年間、様々な実習で山を歩き、山で作業し、重い道具を運び、急斜面でふんばりながらチェーンソーを使うことで確実に逞しくなりました。喜ばしい限りです。

京都府では、「京都府農林水産業人材確保育成戦略」を策定し、これまで農業・林業・水産業の分野毎に実施してきた人材確保・育成施策を産学公民の多様な主体と連携しながら横断的に推進していく取組を今年度より始めています。このような中、林業大学校の果たす役割は重要で、本校に対する期待は、一層高まっています。その期待にしっかりと応えていけるよう、教職員一同、力を合わせて学校運営に取り組んでまいります。森林・林業・木材業関係各位や地域の皆様のご支援があってこそこの林業大学校です。日頃のご厚情に深く感謝申し上げますとともに、今年度も本校の教育活動にご協力ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。